

## 「保育園・学校給食の放射能測定の改善に関する請願書」

### 〔請願項目〕

- 1.ゲルマニウム半導体検出器の導入をお願いします。
- 2.放射性物質が検出された食材はHP上で実測値を公表して下さい。
- 3.放射性物質が微量でも検出された食材は、国の定める基準値以下であっても使用を中止して下さい。

私たちは、2011年3月の東京電力福島第一原発の事故以降、子どもたちへの放射能による影響を心配した母親たちを中心に活動をしている「放射能から子どもを守りたい 朝霞ひまわりの会」です。私たちが心配している事の一つは給食です。その中で朝霞市におかれましては早い段階での測定器の導入、そして2014年10月からは食材の単品検査を実施して頂いている事に、大変感謝しております。しかしながら、現在朝霞市が導入している測定器は「シンチレーション検出器」です。この検出器では、検出限界値が10Bq/kgであり、それ以下の測定は難しいのが現状です。放射線のもつエネルギーをより精密に測定できるゲルマニウム半導体検出器では1Bq/kg程度まで可能です。放射能に安全値はありません。また、成長期の子どもは大人と比較しても影響を受けやすく、その影響は長期間にわたると言われています。少しでも子ども達を放射能の影響から守るため、より精密に測定する事を請願させていただきます。また、現在国が定める基準値は100Bq/kgですが、放射能は微量でも体内に含めば蓄積し、身体に悪影響を与えます。朝霞市で測定した食材で放射性物質が検出された場合は、たとえ基準値以下であっても使用の見合わせをお願いします。

上記の通り請願します。

平成26年11月10日

放射能から子どもを守りたい 朝霞ひまわりの会

朝霞市議会議長 利根川仁志 様